

## 令和4年度本庄市人権教育研究集会の開催について

市民一人ひとりの人権が尊重され、ともにいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目指し、人権教育研究集会を開催します。

長年にわたり、日本テレビ系のニュース番組「きょうの出来事」のキャスターを務められ、2007年公益財団法人 国家基本問題研究所 理事長に就任。国防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の長期戦略の構築に挑んでいる、ジャーナリストの櫻井よしこ氏を講師に招き、「世界の中の日本 ～アジアにおける人権問題を問う～」と題し講演していただきます。

○日 時：令和5年3月30日（木）19時00分～20時30分  
（開場：18時00分）

○会 場：本庄市民文化会館（定員1,000名）  
申込不要（先着順）

○内 容：世界の中の日本  
～アジアにおける人権問題を問う～

○その他：入場無料、手話通訳あり

○主 催：本庄市、本庄市教育委員会

※広報ほんじょう（3月1日号）の同時配布物として  
講演会チラシを折込みします。



○添付資料 チラシ 1部  
取材の取り扱いについて 1部

問合せ先

○本件記事に関すること 市民生活部 市民活動推進課 多文化共生係

担当：野本、中村

電話：0495（25）1118

講演  
テーマ

# 世界の中の日本

## アジアにおける人権問題を問う



講師

# 櫻井 よしこ氏

(ジャーナリスト)

### ■職歴・経歴

ベトナム生まれ  
新潟県立長岡高等学校卒業  
ハワイ大学歴史学部卒業  
1971～74年クリスチャンサイエンスモニター紙東京支局勤務  
1975～77年アジア新聞財団DEPTH(デプス)NEWS記者  
1978～82年アジア新聞財団DEPTH NEWS東京支局長  
1980～96年NTVニュースキャスター  
1980～現在ジャーナリスト  
2007年国家基本問題研究所 理事長に就任

### ■受賞歴

1994年/ SJ賞(女性放送者懇話会賞)受賞  
1995年/ 第26回大宅社ノンフィクション賞受賞  
1998年/ 第46回菊池賞受賞  
2010年/ 第26回正論大賞受賞

### ■著書

『わが国に迫る地政学的危機—  
憲法を今すぐ改正せよ!』  
(ケイトキルバート氏との共著)(ビジネス社2002年)  
『ハト派の魂』(高市早苗氏との共著)  
(産経新聞出版 2022年)  
『亡国の危機』(新潮社 2021年)  
『赤い日本』(産経新聞出版 2021年)  
『言語道断』(新潮社 2020年)  
『親中派の魂』(産経新聞出版 2020年)  
『一刀両断』(新潮社 2019年)  
『愛国者たちへ』(ダイヤモンド社 2019年)  
『問答無用』(新潮社 2019年)  
『日本の未来』(新潮社 2018年)  
『チベット自由への闘い』(伊豆屋刊 2016年)  
『日本の敵』(新潮社 2017年)  
『地政学で考える日本の未来』  
(PHP研究所 2017年) 他多数

とき

# 3月30日(木)

令和5年

ところ

## 本庄市民文化会館

本庄市北堀1422-3

開場/18:00 講演会/19:00~20:30

※新型コロナウイルスの感染状況により、入場者の制限、講演会を中止する場合があります。

入場無料

申込み不要(先着順)

手話通訳  
あり

定員  
1,000名

講演会参加にあたり  
新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

- 発熱や咳など風邪症状がある場合や体調が悪い場合は、ご来場をお控えください。
- ご来場の際、会場内ではマスクを着用してください。
- 入退場時の手指消毒、及び検温にご協力ください。

検温の結果 37.5℃以上の発熱が確認された場合、入場をお断りさせていただく場合があります。



主催/本庄市・本庄市教育委員会  
問い合わせ/本庄市 市民活動推進課(本庄市本庄3-5-3)  
TEL.0495-25-1118 FAX.0495-22-0602  
E-mail katudou@city.honjo.lg.jp



## 取材の取り扱いについて

- ・ 講演冒頭から5分程度、報道機関関係者の写真撮影は可能です。
- ・ 写真撮影時には、フラッシュはNGでお願いいたします。
- ・ ケーブルテレビなどでの映像撮影につきましては、定点カメラでお願いいたします。放映につきましては、ニュースソースとして1分程度の枠で可能です。  
なお、音声についてもOKですが、誤解を招くような箇所をあえて抜き出しで使わないようお願いいたします。
- ・ 講演内容の掲載については、「開催報告」までは可能ですが、「要旨の掲載」は不可となります。
- ・ 報道機関関係者と分かるよう、腕章の着用と、必要に応じて身分証の提示をお願いいたします。